

授業科目名	社会学		担当教員	佐藤 麻衣	科目ナンバリング LE122
選択	開講年次：1 年前期	単位：1 単位	授業形態：講義15時間		

【授業概要】

人間が生活する環境としての社会を理解するため、社会学の基本的な概念、たとえば、社会的行為や相互行為、個人と社会、社会と文化などをまず理解し、それらを用いて日々の現実を解釈し説明し、社会的なものの方、考え方を身につけるための基礎的知識を学ぶ。

【達成目標】

社会学の基本的概念を学ぶことによって現代社会の課題や諸問題を理解し、看護師としての社会的なものの方、考え方を養う。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] 社会学とは何か -社会学の研究対象とその方法-
- [02] 近代社会と個人(1) -社会の近代化と個人の個人化-
- [03] 近代社会と個人(2) -地位・役割および役割葛藤と役割距離-
- [04] 近代社会と個人(3) -世代、階層、地域-
- [05] 近代社会と個人(4) -ジェンダー-
- [06] 近代社会と個人(5) -近代社会におけるコミュニケーションの特徴-
- [07] 医学・医療と社会学(1) -看護師の専門性、看護における感情労働-
- [08] 医学・医療と社会学(2) -「病」の構築-

【教科書】

特定のものは使用しない。

【参考書】

参考図書は各授業回に紹介する。

ただし、8回の授業でカバーしきれない範囲はごく限られるため、より広範な知識を求める学生には、以下の入門書を薦める。

- (1) 早坂裕子・広井良典編著(2004)『みらいを拓く社会学 看護・福祉を学ぶ人のために』ミネルヴァ書房
- (2) 浅野智彦編著(2002)『本当のことがホントにわかる！ 図解 社会学のことが面白いほどわかる本』中経出版

【評価方法・評価基準】

期末レポート(100%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

第2回～第6回の授業で扱う内容はいずれも、日常生活のなかで人々が何気なくおこなっている行為である。そのため、自分自身が日常生活を送るなかで、それらに気づき、観察し、考えることがもっとも有益な事後学習となる。

また、各授業回において、授業内容への理解を深めるための文献を数冊ずつ紹介する。事後学習として毎回、それらの本の中から興味のあるもの1冊を選び、読んでおくこと。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ、教養教育で培う普遍的基礎能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

授業内に求める意見・感想へのフィードバックは、その後の授業のなかで行う。

【備考】

本科目は1年後期に開講される必修科目「家族社会学」と関連が深く、各論である「家族社会学」の基礎をなす科目である。そのため、可能な限り「社会学」を履修しておくことを勧める。